



第4回ゆくはし国際公募彫刻展

ゆくはしビエンナーレ2023スタート！

今回のテーマは
公共空間に設置するにふさわしい
知識・知性を具現化した歴史上の人物

「ゆくはしビエンナーレ」は、市内各地に優れた彫刻作品を設置することで、人々が日常的にアートに触れることができる潤いと魅力あふれる街づくりを目指す公募彫刻展です。

ブロンズ・等身大・人物像の彫刻作品を広く世界に呼びかけて募集します。大賞作品は市民のみなさんが、いつでも見て触れることができる公共空間に設置します。

- ◇作品応募受付：12月1日(水)～令和4年3月31日(木)
- ◇第一次審査：令和4年5月
- ◇第二次審査：令和4年7月
- ◇授賞式：令和5年3月
- ◇お問合せ

ゆくはし国際公募彫刻展実行委員会事務局
☎ 23-0032

◆市民の投票による「市民賞」および子どもたちの投票による「子ども大賞」を引き続き設けます。

関連イベントも計画中です！！



過去の大賞作品

第1回展大賞作品
《思考するヒポクラテス》
奥村 信之



設置場所：リブリオ行橋（ロビー）
古代ギリシアの医聖ヒポクラテスをかたどった作品。弥勒菩薩半跏思惟像のポーズをとり、東西文化を融和させる工夫が凝らされている。

第2回展大賞作品
《卑弥呼》
窪 信一郎



設置場所：コスメイト行橋（玄関）
京都平野がかつて邪馬台国の一部であったと言われる歴史を踏まえた作品。瑞々しい表情が高く評価された。

第3回展大賞作品
《世界へ》
郡 順治



設置場所：JR行橋駅（コンコース）
日本が近代国家へと大変革した明治時代に、多彩な才能を発揮した行橋出身の末松謙澄。大志を抱く、若き日の姿で表現している。